

学力を上げる「学習計画書」

2022.5.5(木)

「学習計画書」とは

数専ゼミでは、授業前に、前回の学習結果を記録した「学習計画書」を渡します。

Link 「学習計画書」のサンプル

これには解いた全問題の正誤が記録されています。

前回間違えた問題は、その日、再テストを行います。

また、この「計画書」は、その単元で習得すべき問題パターンリストでもあります。

その単元では、どんな型の問題が解けるようにならないかをリストアップして学習目標を示したものです。

「学習計画書」を見る子、見ない子、捨てる子

渡された計画書（学習の記録）をめぐって3タイプの子が現れます。

- (1)じっくりと見て、何か考えている子 …賢い子です。
- (2)さっと見てすぐしまう子 …フツーの子です。偏差値50タイプです。
- (3)見ようともせず、プリントファイルの下に差し込み、塾においていく子
やる気のない子です。もうすぐ塾はやめる子です。もちろん、学力が伸びないからです。

「学習計画書」は学力の到達点と今後の目標を具体的に示す

テストを受けて「60点、1次関数をがんばりましょう。」という評価をもらいました。

さて、きょう、今から何を勉強したらいいですか？

わかりません。

だから、成績表などどこかへしまっけてしまいます。

数専ゼミの「学習記録」はそういう成績表とはまったく違います。

どんな知識や技術が身についたがどうかを具体的に、しかも詳細に記録したものです。

たとえば、単に「方程式の文章題」が解けないではなく、

「過不足算の問題が解けない」とか、「濃度の水を蒸発する問題ができない」とか、「割合の比べられる量を求める問題が解けない」とか、「速さのトンネルの問題で、汽車がトンネルの中にいる時間を求める問題が解けない」等々…

だから、この記録を見れば、今何を勉強すればいいかが具体的にわかります。

しかも、それらの問題を解けるようにするための学習教材も塾から提供されます。（問題集から自分でさがす必要はありません。）

AIの学力分析などまねができない！

変なAIを使った学力分析などではまねのできない学力をあげるために何を勉強したらいいかを具体的に示した「記録」です。

賢い子は「学習計画書」の威力を知っている！

賢い子は、「学習計画書」が示す学習指示の通りに勉強すると、学校の成績や模試の点数が上がることを体験しています。だから、毎回渡される「学習計画書」が示す自分の学力の到達点と今後の学習課題をしっかりとおさえて、その日からの学習に取り組みます。

「学習計画書」を見ない子！

賢い子は、1度間違えた問題は「学習計画書」に記録されていますから、それを見て、解けるように練習してきます。だから、回目の再テストでは解けるようになっているのです。

逆の子もおります。

「学習計画書」見ないということは、自分が解けない問題を知ろうとしない、ということです。だから、解けなかった問題を解けるように練習はしません。回目の再テストでも解けません。前回で学習したことは身につけていないわけで、結果として、その90分の勉強はしなかったことと同じになります。

必然的に、学校や模試の成績は伸びません。

だから、塾も長続きしません。

他の塾に行ってもたぶん同じようなことがおこるでしょう。

「学習計画書」が学力を上げる！

畢竟、少し賢い子は戻ってきます。

戻ってくると「学習計画書」よく見るようになります。

当然、以前とは違う人になったように成績はあがっていきます。

学年上位に食い込んでいきます。

「学習計画書」が学力を上げることを身をもって知ることになったのです。

学習を科学するから学力が上がる数専ゼミの数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp